

所管課：福祉部福祉課

期 間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

平成30年度 総合福祉センター管理運営評価表

1 施設概要

設置目的	老人及び障がい者に対するサービスの提供、各種福祉団体の育成等及び各種福祉情報の提供等を総合的に行い、市民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図ること。
施設内容	・ 老人デイサービス事業及び生活介護事業を行う施設 ・ 福祉活動施設
指定管理料等の支出額	協定締結額 49,471,000 円 支出済額 46,802,029 円

2 指定管理者

名 称	社会福祉法人 北本市社会福祉協議会
所 在	北本市高尾1丁目180番地
指定期間	平成30年4月1日～平成34年3月31日
業務範囲	(1) 管理施設等の維持管理に関する業務 (2) 管理施設の利用承認に関する業務 (3) 老人デイサービス事業 (4) 生活介護事業 (5) 各種福祉団体・ボランティアの育成に関する事 (6) 地域交流事業に関する事 (7) 事業計画及び事業報告に関する事 (8) その他施設の設置の目的を達成するために必要な業務であって、協議の上定めた業務

3 管理運営の実績

施設の貸出状況等	条例・規則、仕様書に基づいた受付、貸出が行われた。 ・ 福祉活動施設の利用者数は15,909人（前年度14,558人）前年比9.3%増。
料金の収受の状況	福祉活動施設は無料のため、利用料の収受はなし。 生活介護事業利用者負担金 268,211 円を収受した。
自主事業の状況	トマトカレー婚活パーティー、パンビュッフェ婚活パーティーを実施した。
施設維持管理の状況	清掃、設備の点検、警備の管理等が行われた。
収支の状況	(1) 経常収入 71,873,360 円 指定管理料 49,471,000 円、事業収入 28,000 円 障害福祉サービス事業収入 22,371,680 円、その他収入 2,680 円 (2) 経常支出 69,204,389 円 人件費 45,384,848 円、事業費 22,137,616 円、事務費 407,125 円 助成金 367,000 円、退職手当積立 907,800 円 (3) 経常収支 2,668,971 円

4 利用者の満足度調査等

利用者アンケートの結果	平成31年1月15日～平成31年2月14日の期間において実施した。
利用者の意見、苦情等	意見や苦情等はなかったが、生活介護事業でヒヤリハット報告が5件あった (1) 作業室において①

とその対応	<p>【状況】作業終了後、片付けの際にテーブル上に利用者のメガネが残っていたが、片付けをしていた職員が他の職員の眼鏡と誤認して、片づけてしまった。利用者が帰宅後、メガネがないことに気づき、取りに戻ってきて、判明した。</p> <p>【対応】職員の謝罪。片付けの際に確認を行う。持ち物に名前をつける。職員のをテーブルに放置しない。</p> <p>(2) 作業室において②</p> <p>【状況】通常、実績に捺印後、直ぐに返すか、連絡帳にしまうのだが、ロッカーにしまってしまい、そのまま利用者は帰宅してしまったため、すぐに連絡、謝罪、取りに来ていただいた。</p> <p>【対応】印鑑は、捺印後、必ず直ぐに返すか、連絡帳にしまう。</p> <p>(3) 生活介護室において①</p> <p>【状況】利用者の忘れていった「しつけ糸」を社協の用品と勘違いして、片づけてしまった。利用者が自分の「しつけ糸」がないことに気がつき、探しに来たことで判明した。</p> <p>【対応】謝罪する。個人所有の物には名前を明記してもらう。</p> <p>(4) 生活介護室において②</p> <p>【状況】職員が他の利用者の対応をしている際に右足が麻痺している利用者がトイレに行こうとしてイスに付属している杖を入れる筒に引っかかり転倒した</p> <p>【対応】職員は、利用者の身体を起こし、椅子に座らせ、痛いところの確認と異常があったら、直ぐに連絡をするように伝えた。杖を使っていない利用者だったが、筒の付いている椅子を提供してしまったので、身体状況に合わせた椅子の提供を行う。麻痺のある利用者の特に動き出しを十分に注意する。</p> <p>(5) バスでの送迎時において</p> <p>【状況】利用者が帰宅の際に自宅前で杖がないことに気づく。施設で車イスを乗り換えており、朝乗っていた車イスのポケットに杖が入っていた。</p> <p>【対応】謝罪する。デイの車イスのポケットに私物を入れないようにする。個人の物はすぐにわかるようにしておく。</p>
-------	---

5 庁内検査委員会のまとめ

所見	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費の使用量の削減に努めること。 ・生活介護事業の施設利用率の向上に努めること。
----	--

6 前回評価委員会の指摘事項

指摘事項	予算と決算が同額で調整されているため、評価のしようがない。委員会への収支の報告方法を見直すこと。
対応状況	御指摘のとおり、報告の方法を見直し、今回より実施した。

7 評価委員会のまとめ

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ● A：業務が履行され、施設の管理運営が適切になされている。 ○ B：一部改善を要する事項はあるが、施設の管理運営がほぼ適切になされている。 ○ C：履行に重大な問題がある。
所見	

(評価実施日 令和元年8月2日)